

女性に対する呼称語の使用意識

——“小姐”“阿姨”“服务员”を中心に——

宮 本 大 輔

MIYAMOTO Daisuke

はじめに

本稿は、中国人の女性に対する呼称語の使用意識に関する研究である。

呼称は英語の address terms の訳語であり、「相手を呼びかける際の言語形式で、さまざまな対人的な関係やコミュニケーション上の慣習を表す社会言語学的な現象の1つである⁽¹⁾」とされており、代名詞、固有名詞、親族呼称、役職名などを含んでいる。

楊（2004）によると、本稿で取り上げる“小姐”という呼称語は、1度はほぼ使用されなくなっていたが、90年代における改革開放路線の4つの現代化の中で、息を吹き返したものの1つである。しかし、21世紀に入ってから、香港や台湾の影響を受け、各メディアが風俗業にたずさわる女性の呼称に“小姐”を用いたため、多くの女性が“小姐”と呼ばれることに對して嫌悪感を抱くようになったという。

また、莫（2002）は次のように述べている。

「80年代の半ば頃のことだが、デパートで女性店員に商品を見せてもらおうと想って、「同志」と呼ぶと相手にしてくれなかった。そこで、「小姐」という呼称に変えてみるとにこやかに應對してくれた、というエピソードが残っている。

だが、最近はこの「小姐」という呼称のイメージがどうも悪くなっている。ホテルやレストランで若い女性の従業員に対して「小姐」と呼ぶと、彼女らはあからさまに嫌な表情をする。その理由は売春や性的サービスを売り物にする

風俗業の跋扈にある。風俗業に従事する若い女性もまた「小姐」と呼ばれている。かつては西側文化の薫りを漂わせていたこの呼称がすっかり薄汚れてしまったために、「小姐」と呼ばれた若い女性が拒絶反応を見せたというわけだ。⁽²⁾

では、辞書の“小姐”という項目の記述はどうなっているのだろうか。日中両国で出版されているいくつかの辞書を確認しておきたい。

①『中日大辞典』⁽³⁾：「1. お嬢様：旧時、使用人が主人の娘に対する称。また広く他人の娘に対する尊称。

2. ……嬢。ミス……：多く外国人の未婚の女性に用いる。3. 旧時、職業婦人の呼称に用いた。」

②『中日辞典』⁽⁴⁾：「1. （主人の娘に対して使用人が用いる呼称）お嬢様。2. （未婚女性に対する呼称）お嬢さん、おねえさん、……さん。」

③『現代漢日辞海』⁽⁵⁾：「1. お嬢さん。令嬢；革命前の社会で雇われている人の主家の未婚の女性に対する呼称。また、広く上流家庭の女性を指した。2. 革命前未婚女性に対する尊称；現在は広く若い女性に対して用いられる。3. 旧時の妓女。4. モンゴル人の妻・夫人に対する呼称。5. 旧時の側室、側女。」

④『現代中国語新語辞典』⁽⁶⁾：「1. （旧時、使用人が主人の娘に対して用いた呼称）お嬢様。2. （若い女性や未婚の女性に対する呼びかけ）お嬢さん、……さん。3. 風俗業や水商売などに従事する若い女性を指す。」

⑤『現代汉语词典』⁽⁷⁾：「1. 旧時、裕福な家の使用人が主人の娘に対して用いる呼称。2. 若い女性、或いは未婚の女性に用いる。」

⑥『应用汉语词典』⁽⁸⁾：「1. 旧社会の官僚や地主，資産階級家庭の使用人が主人の娘に対して用いる呼称。2. 未婚女性に対する尊称。3. 単身で現れた女性に対する尊称，年齢制限はなく，60～70歳の女性に対して用いることもできる。4. 美女コンテストの優勝者。5. 何らかの職業に就いている女性に対する呼称。」

①～⑥の辞書の中では，④『現代中国語新語辞典』だけが「風俗業にたずさわる女性」を連想させることに言及しており，“小姐”は「風俗業にたずさわる女性」という意味を含まないとするものの方が多いと思われる。

本稿の目的は次の通りである。(1) インフォーマントは意味範囲が曖昧になりつつある“小姐”をどう使い分けているのか。(2) インフォーマントは“小姐”の代わりにどういった呼称語を使用するのか。(3) インフォーマントはどのように“小姐”と“阿姨”を使い分けているのか。

I 先行研究

まず，呼称語の社会的機能に視点を当てたものとしては，杨（2004）をあげることができる。

杨（2004）は，現代中国語において，“小姐”という呼称語はすでに権威や礼儀を表すものではなく，多くの状況下において水商売（売春を含む）の代名詞となっていると述べている。表1は杨（2004）が“小姐”の持つ社会的機能について，“先生”“同志”との比較という形でまとめたものである。

次に，“小姐”に焦点を当てた新聞記事には东（2000），陶（2005），郭（2005）等がある。また，学術的に調査・分析した研究には次のようなものがある。

樊等（2004）は，24の省都及び直轄市において，一定以上の学歴を有する18～40歳の者を調査対象としたアンケート調査を実施して得た各都市：10部，合計：240部のサンプルを用いて，「小姐」の語用論的な特徴と地理的な分布について論じている。これによると，“小姐”の第一指示——つまり，“小姐”が最

表1 A semantic comparison between Tongzhi and Xiansheng / Xiaojie⁽⁸⁾

Address Terms	Power	Politeness	Gender Marker	Marriage Status	Semantic Degradation
同志	—	—	—	—	+
先生	+	+	+	+ / —	—
小姐	+ / —	+ / —	+	+	+

表2 “小姐”の第一指示

地名	第一指示	地名	第一指示	地名	第一指示
瀋陽	40% (2)	香港	100% (2)	鄭州	50% (4)
	20% (4)	西安	40% (2)		40% (2)
南京	90% (2)	ハルビン	20% (3) (4) (5)	太原	40% (4)
	10% (4)		70% (2)		30% (5)
北京	60% (4)	蘭州	30% (4)	長沙	60% (3)
	30% (2)		40% (5)		40% (4)
上海	60% (3)	重慶	30% (2) (5)	天津	60% (2)
	20% (2) (4)		20% (4)		20% (3) (4)
南昌	50% (2)	福州	50% (2) (4)	銀川	40% (5)
	40% (4)		60% (4)		30% (4)
ウルムチ	60% (2)	南寧	40% (2)	貴陽	40% (5)
	40% (4)		40% (5)		30% (3)
昆明	40% (5)	長春	30% (3)	合肥	50% (5)
	30% (3)		60% (2)		20% (2) (3)
	20% (4)	石家荘		フフホト	90% (4)

- (1) 家庭内の最も若い姉
(2) 一般的な社会女性
(3) 地位のある社会女性
(4) サービス業の販売員
(5) 水商売の女性

初に意味するものは以下の通りである。

表2を見ると，“小姐”という呼称語を「一般的な社会女性」に対するものとしているのは，香港（100％），南京（90％），ハルビン（70％），天津・石家荘・ウルムチ（60％），南昌（50％），西安（40％）となっている．これに対して「水商売の女性」に対するものとしているのは，合肥（50％），昆明・蘭州・長春・銀川・貴陽（40％），重慶・太原（30％），西安（20％）となっている．樊等の調査は，中国全土24都市に及んでいる．だが，質問項目が全て明示されていないことや，各都市のサンプル数が少なすぎるといった問題点も見られる．

また，李（2003）は，“小姐”という呼称語の使用を歴史的な変化の過程という視点からその広義化の傾向を分析しており，語用論的な分析を通して，「小姐」を用いるコンテキスト中に見られる特徴を提起している．だが，文学的記述や歴史的記述からの分析に偏っているといった問題点も見られる．

本稿では，調査地域を北京にしぼり，サンプル数や質問項目を増やすことによって，更にミクロな視点での分析を試みている．また，具体的な場面を設定したアンケート調査を実施することによって，抽象的な使用意識をできる限り実際の使用状況に近い形で捉えることを試みている．

II 研究概要

本稿では，“小姐”という呼称語の意味が拡大したことを受け，流行に最も敏感であると考えられる大学生がこの呼称語をどのように使用するのかという点に着目し，北京師範大学において大学生155名を対象とした意識調査を実施した．

本稿の研究地点及び調査対象は以下の通りである．

調査地点と場所：中華人民共和国北京市北京師範大学

調査実施期間：2007年4月12日～4月16日

調査対象：北京師範大学学部生 155名（男性：22名（14.2％），女性：133名（85.8％））

年齢構成：17～22歳

調査には自由記述式の調査票を配布し回収する留置法を用いた．これは，インフォーマントが日常生活において頻繁に出遭うだろう様々な場面において，11～20歳（設定した場面の多くに11～15歳程度の女性が現れる可能性は極めて低いが便宜的に11～20歳とした），21～30歳，31～40歳，41～50歳，51歳以上の各年齢層に見える女性に呼びかける時に，どういった呼称語を用いるかを調べることを目的としている．アンケートの内容は表3，表4の通りである．

表3 調査票内容（パターン1）

(a) 空港・駅で	{	11～20 歳に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
		21～30 歳に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
		31～40 歳に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
		41～50 歳に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
		51 歳以上に見える女性従業員には _____ と呼びかける。

表4 調査票内容（パターン2）

(f) レストラン・食堂で	{	高級店	11～20 歳に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
			21～30 歳に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
			31～40 歳に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
			41～50 歳に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
			51 歳以上に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
	{	中級店	11～20 歳に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
			21～30 歳に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
			31～40 歳に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
			41～50 歳に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
			51 歳以上に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
	{	低級店	11～20 歳に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
			21～30 歳に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
			31～40 歳に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
			41～50 歳に見える女性従業員には _____ と呼びかける。
			51 歳以上に見える女性従業員には _____ と呼びかける。

設定したのは(a) 空港・駅(机场・车站), (b) 道ばた(路上问路), (c) 医療機関(医疗机关), (d) 行政機関(行政机关), (e) 大学事務(大学教务处), (f) レストラン(餐厅・食堂), (g) デパート(商店・商场), (h) バー(酒吧), (i) ディスコ(舞厅), (j) ホテル(宾馆・旅店), (k) 美容院(美发厅)の11場面である。但し, 場面(f) (g) (j) に関しては, 調査票内容(パターン2)を採用し, 一つの場面を更に高級, 中級, 低級の3つに分けた。その他の場面に関しては調査票内容(パターン1)を採用している。

Ⅲ 結果と考察

(1) 全体像

表5は設定した全ての場面に現れた呼称語とその出現率を示したものである。

各年齢層において出現率が10%を超えている呼称語は, ほぼ全ての場面において, 比較的多く出現しているものである。11~20歳では“小姐”“服务员”“その他”, 21~30歳では“小姐”“服务员”“その他”, 31~40歳では“服务员”“阿姨”“小姐”“その他”, 41~50歳では“服务员”“阿姨”“その他”, 51歳以上では“服务员”“阿姨”“その他”がこれにあたる。ここで“その他”はゼロ呼称, つまり呼称語を省

略した挨拶表現——“你好(こんにちは)”“请问……(お尋ねしますが……)”“打扰一下(お邪魔いたします)”“不好意思(すみません)”などを含んでいる。

また, 各年齢層において出現率が10%未満の呼称語は大きく2種類に分けることができる。つまり, ①ほぼ全ての場面に現れるもの, ②ある特定の場面でしか使用されないものの2つである。

①にあたるのは, 11~20歳では“姐姐”“妹妹”“女士”“同志”, 21~30歳では“姐姐”“阿姨”“女士”“同志”, 31~40歳では“姐姐”“女士”“同志”, 41~50歳では“小姐”“姐姐”“同志”, 51歳以上では“小姐”“阿婆”“大妈”“大姨”“同志”である。

②にあたるのは, 11~20歳では“医生”“护士”“老师”“同学”“美女”“师傅”“售货员”“理发师”“老板娘”, 21~30歳では“医生”“护士”“老师”“同学”“美女”“师傅”“售货员”“理发师”“妹妹”“老板娘”, 31~40歳では“医生”“护士”“老师”“美女”“师傅”“售货员”“理发师”“妹妹”“老板娘”, 41~50歳では“医生”“护士”“老师”“美女”“师傅”“售货员”“理发师”“妹妹”“老板娘”“大妈”“大姨”, 51歳以上では“医生”“护士”“老师”“美女”“师傅”“售货员”“理发师”“妹妹”“老板娘”である。

呉(1999)には, 大学生及び社会人の中で, “同志”という呼称語は市民権を失いつつあるという記述があるが, 本調査結果によると, 極めて低い出現率ではあ

表5 年齢別の呼称語使用状況

11~20歳		21~30歳		31~40歳		41~50歳		51歳以上	
小姐	34.2%	小姐	33.2%	服务员	33.7%	服务员	33.2%	服务员	32.5%
服务员	31.3%	服务员	31.0%	阿姨	17.9%	阿姨	28.4%	阿姨	21.6%
その他	11.8%	その他	10.6%	小姐	16.2%	その他	11.3%	その他	11.1%
姐姐	3.9%	姐姐	8.4%	その他	11.0%	小姐	7.5%	小姐	6.4%
妹妹	3.4%	老师	3.8%	老师	4.7%	老师	4.6%	大妈	5.3%
同志	2.8%	同志	3.0%	姐姐	4.2%	医生	3.2%	阿婆	5.0%
老师	2.6%	医生	2.9%	医生	3.1%	同志	3.0%	老师	4.7%
医生	2.6%	售货员	1.4%	同志	2.8%	姐姐	1.8%	医生	3.2%
同学	2.1%	阿姨	1.3%	女士	1.5%	售货员	1.5%	同志	3.1%
售货员	1.4%	护士	1.2%	售货员	1.5%	女士	1.2%	售货员	1.4%
护士	1.4%	女士	0.93%	护士	1.2%	护士	1.1%	女士	1.2%
女士	0.75%	~+小姐	0.56%	师傅	0.45%	大妈	0.79%	护士	1.1%
~+小姐	0.71%	妹妹	0.49%	老板娘	0.45%	老板娘	0.68%	姐姐	0.83%
美女	0.45%	美女	0.45%	美女	0.41%	师傅	0.60%	老板娘	0.71%
师傅	0.34%	师傅	0.37%	~+阿姨	0.26%	美女	0.34%	师傅	0.56%
老板娘	0.08%	同学	0.19%	~+小姐	0.15%	~+阿姨	0.23%	美女	0.34%
理发师	0.04%	理发师	0.07%	妹妹	0.15%	妹妹	0.15%	~+阿姨	0.23%
		老板娘	0.07%	理发师	0.11%	理发师	0.11%	大姨	0.19%
		~+姐姐	0.07%	~+女士	0.04%	~+小姐	0.08%	妹妹	0.15%
		~+阿姨	0.04%	~+同志	0.04%	大姨	0.08%	理发师	0.11%
						~+女士	0.04%	~+小姐	0.08%
						~+同志	0.04%	~+同志	0.08%
								~+女士	0.04%
合計	100%	合計	100%	合計	100%	合計	100%	合計	100%

るが、ほぼ全ての設定場面において出現している。更に、場面（d）行政機関においては、20.4%～24.7%と比較的高い率で現れており、全ての年齢層の女性職員に対して使用できる呼称語と認識されていることが分かる。

（2）“小姐”の使用実態

図1は、呼びかける相手の年齢を考慮せず、筆者が設定した各場面において“小姐”という呼称語がどれほど用いられているのかをグラフ化したものである。

図1から、ディスコやバー、美容院（中国には夜になるとピンク色の明かりを灯し、性的サービスを提供する美容院がある）といった中国では多少なりとも水商売を連想させ得る場面において多く用いられる傾向にあるといえるが、これと同時にデパート（高級）、デパート（中級）においてもかなり高い数値を示している。

デパート及びレストラン、ホテルにおいては、高級→中級→低級と店のランクが下がるにつれて“小姐”の出現率が減少していく傾向にある。“小姐”のこのような使用傾向には、“小姐”が元来持つ高級感が影響を及ぼしていると考えられる。

李（2003）は改革開放以後の“小姐”の用いられ方について、以下のように述べている。

「改革開放期に入ると、人々の政治に対する関

心は次第に薄まり、社交場面において人々が礼儀を重視するようになった。それにつれて、“小姐”という呼称語は、その語呂の良さと上品さから、全ての社会的コミュニケーションの場において、代表的な呼称語となった。⁽⁹⁾」

また、ディスコやバーといった場面で、“小姐”という呼称語が多く用いられていることについては、そこで働いている女性従業員自身が、自分たちの仕事は「三陪小姐」につながるということを自覚しており、“小姐”と呼ばれることについて、余り反感を抱かない可能性がある。そのため、ディスコやバーといった場面では“小姐”という呼称語が回避されないのだと筆者は考える。

ここまで見てきたように、“小姐”はバーやディスコといった娯楽場面の他に、高級なデパートやホテル、レストランにおいても高い出現率を示しており、それには“小姐”が元来持つ高級感が影響を与えたのではないかということはすでに述べたとおりである。つまり、高級なデパートやホテル、レストランといった場面では、“小姐”は李が述べたような美称としての機能を残していると言えるのではないだろうか。したがって、“三陪小姐”と混同されるとして、使用が回避されていることと合わせて考えると、現在の“小姐”は貶義と褒義の両方を兼ね備えている可能性を示唆することができる。

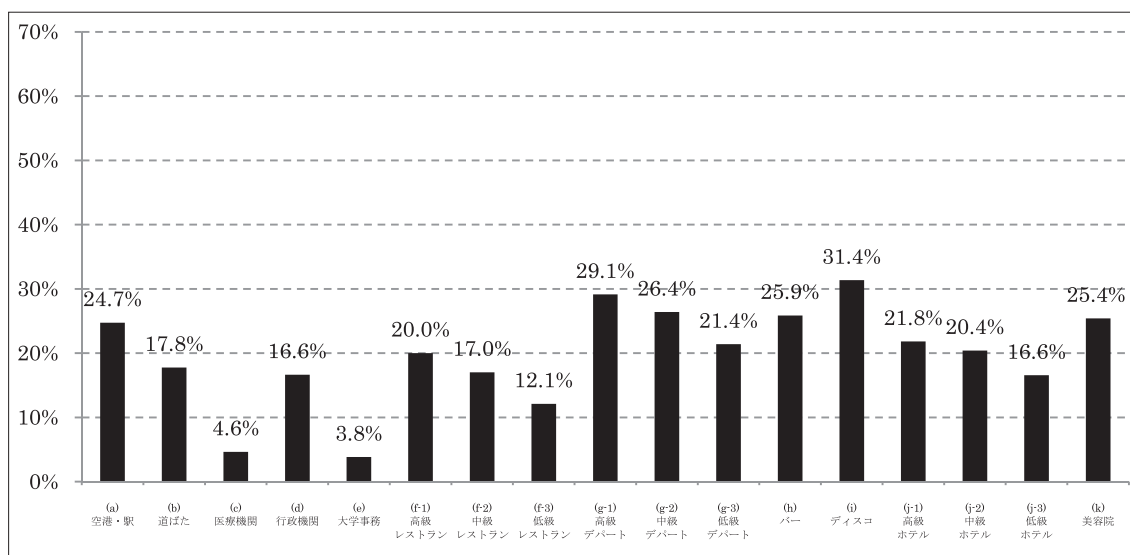


図1 場面別に見る“小姐”の使用実態

(3) “阿姨”の使用実態

図2は、呼びかける相手の年齢を考慮せず、筆者が設定した各場面において“阿姨”という呼称語がどれほど用いられているのかをグラフ化したものである。この図から、道ばたにおいて出現率が最も高くなり、大学事務において最も低くなっていることが分かる。

ホテル及びレストランでは、高級→中級→低級と店のランクが下がるにつれて、“阿姨”の出現率が増加していく傾向にある。また、デパートでは、中級における“阿姨”の出現率が最も高い数値を示し、高級がこれに準じ、低級で最も低い数値を示しているが、中級と高級の間に見られる差は極めて小さく、両場面における“阿姨”の出現率は同程度と考えても差し支えないだろう。

また、図2の結果は、大きく3つに分けることができる。グループ①20%以上の数値を示している場面(b)(a)(d)、グループ②20%未満の数値を示している場面(f-1)(f-2)(f-3)(g-1)(g-2)(g-3)(h)(i)(j-1)(j-2)(j-3)(k)、そしてグループ③場面(c)(e)だ。グループ①と②の間の違いは、31～40歳の女性に対する呼称にある。前者では、“小姐”よりも“阿姨”が多用される傾向にあるのに対し、後者では、“阿姨”よりも“小姐”が多用される傾向にある。では、なぜこういった違いが現れるのか。本調査結果の範囲から明らかにすることは難しい。

グループ③に属する場面では、“小姐”“阿姨”共にほとんど用いられていない。この2つの場面では他に

ふさわしい呼称語があるのだろう。

(4) “服务员”の使用実態

図3は、呼びかける相手の年齢を考慮せず、筆者が設定した各場面において“服务员”という呼称語がどれ程用いられているのかをグラフ化したものである。レストラン（低級）において最も高い数値を示し、道ばた及び医療機関、大学事務において最も低い数値を示している。

レストランでは、呼びかける相手の年齢別に見ると、(f-3) レストラン（低級）が最も高い。その値は、それぞれ11～20歳(58.0%)、21～30歳(63.7%)、31～40歳(61.1%)、51歳以上(60.0%)となっている。

レストランでは、低級→中級→高級と店のランクが上がるにつれて、“服务员”の出現率が減少していく傾向にある。これは店のランクが高くなるにつれて、高級感を備えた“小姐”の出現率が高くなっていること、そして、“服务员”という呼称語に対して“土”——つまり、田舎くさいという印象を持つ人がいることに起因していると考えられる。

ホテルでは、中級における“服务员”の出現率が最も高く、高級における出現率がこれに準じ、低級における出現率は最も低くなっているが、3者間の数値の差は極めて小さく、これらの場面における“服务员”の出現率は同程度と考えても差し支えないだろう。

図3を見ると、レストランやホテルでの“服务员”

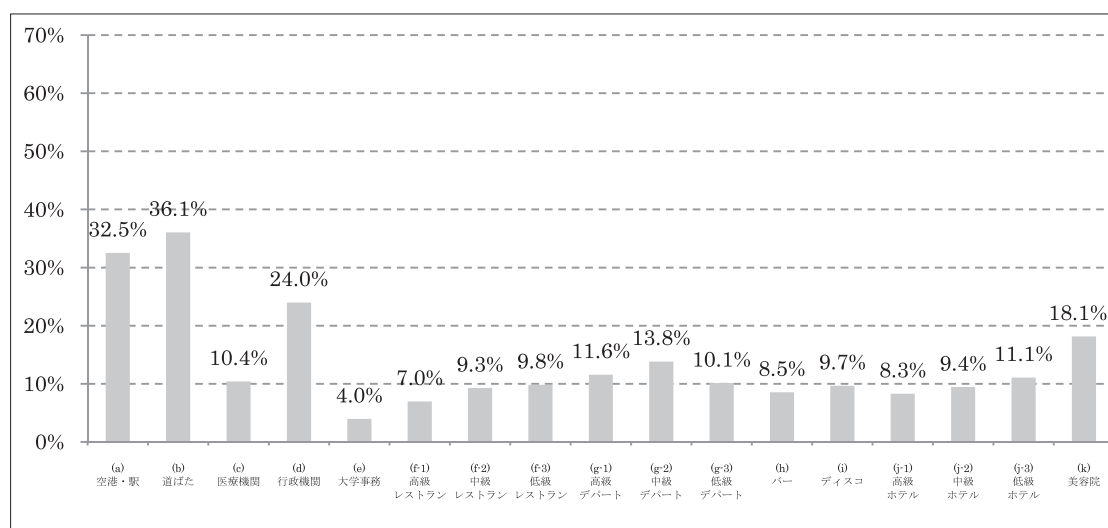


図2 場面別に見る“阿姨”の使用実態

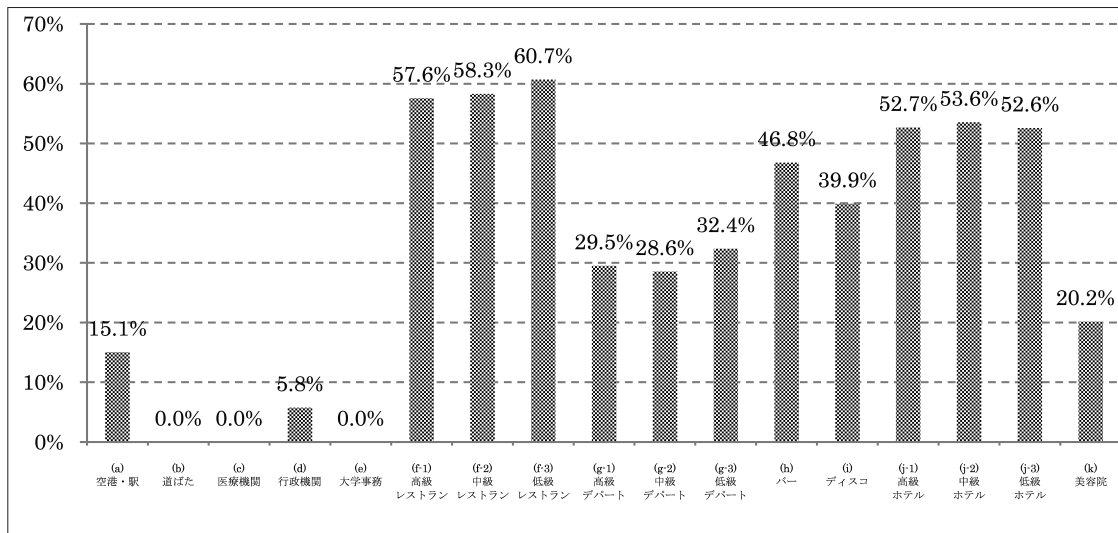


図3 場面別に見る「服务员」の使用実態

の出現率は50%以上となっている。本調査の結果を見る限りでは、レストランやホテルでは、「風俗業にたずさわる女性」という誤解を招く可能性のある“小姐”の代わりに“服务员”を多く使用するという傾向をかいま見ることができる。

そして、医療機関や大学事務、行政機関における“服务员”や“小姐”、“阿姨”といった呼称語が余り用いられていないことを鑑みると、これらの場面では、“小姐”“阿姨”“服务员”の他に更に適した呼称語があることが分かる。具体的に言うと、医療機関においては“医生”“护士”，大学事務においては“老师”，そして、行政機関においては“同志”が呼びかける相手の年齢に左右されない呼称語として多用される傾向にある。日本の大学では、学生が大学の事務員を「先生」と呼ぶことはないため、違和感を覚えるかもしれないが、中国では事務員に対して“老师”と呼びかけることによって、相手への敬意を表すようである。

(5) レストランに見る呼称語

“小姐”“阿姨”“服务员”の場面別使用実態において、特徴的な傾向を見せた「レストラン」に焦点を絞り、その店のランクと3つの呼称語の使用について見てみたい。

図1～図3ですでに述べたように、レストラン（高級）において、“小姐”の出現率は最も高く、中級、低級とレストランのランクが下がるにつれてその出現

率は減少している。“阿姨”については、高級で最も低く、中級、低級とレストランのランクが下がるにつれてその出現率は増加傾向にある。最後に“服务员”については、“阿姨”と同様にレストランのランクが下がるにつれてその出現率は少量ではあるが増加している。

また、図4で“服务员”の数値が、他の2つに比べて、かなり高い数値を示している原因の1つは、他の2つの呼称語が呼びかける相手の年齢層によって制約を受けているのに対し、“服务员”は呼びかける相手の年齢層によって左右されることがないことにある。

(6) 年齢別の呼称語の使用実態

また、これまでは場面別の呼称語の使用実態を明らかにするために、呼びかける相手の年齢層を考慮せず、主にデータを場面別に平均化した数値を基に議論を進めてきた。ここからは呼びかける相手の年齢層別

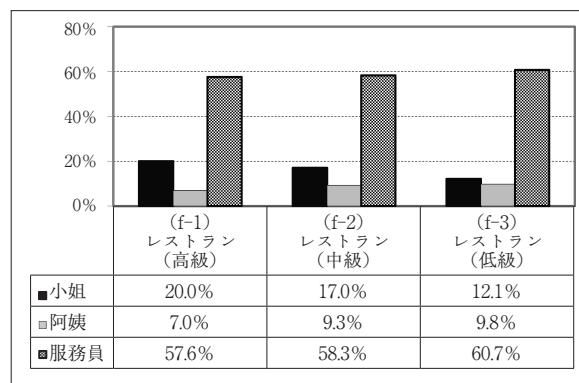


図4 レストランに見る呼称語の比率

に各呼称語の出現率を分析したい。

次の図5は職業の別を考慮せず、呼びかける相手の年齢層によって“小姐”から“阿姨”へのシフト状況がどう変化するかを示したものである。グラフ中の数値は、本調査によって得られた全ての呼称語から“小姐”と“阿姨”を抽出し、これらの呼称語の出現率の合計を100%として算出したものである。

図5を見ると、“小姐”の出現率は11～20歳において最も高い数値を示し、その後、呼びかける相手の年齢層が上がるにつれて徐々に減少し始め、31～40歳の年齢層に入ると、急激に低下して“阿姨”の数値とほぼ重なり、年齢層が高くなるのと比例して減少し続ける。だが、51歳以上においては、わずかではあるが出現率が上昇している。これにはどのような要素が影響を及ぼしているのだろうか。

“阿姨”は、11～20歳及び21～30歳の女性に呼び

かける場合、全く、あるいはほぼ用いられていない。

これに対して“小姐”はすでに述べたように、41～50歳及び51歳以上の女性に呼びかける場合であっても、場面によっては、比較的高い率で用いられる。

次に、“小姐”と“阿姨”の使用状況を飲食・宿泊・販売業とその他の職業で比較すると、図6、図7のようになる。

図6と図7を比較すると、図6において“小姐”の出現率は全ての年齢層において、図7のそれよりも高くなり、図7においては“阿姨”の出現率が全ての年齢層において、図6のそれよりも高くなる。

図7における“小姐”の出現率は11～20歳、21～30歳という年齢層において100%、或いは100%に極めて近い数値を示し、31～40歳で急激に低下し、“阿姨”の出現率を下回り、その後、呼びかける相手の年齢層が上がるにつれて、10%以下にまで低下する。

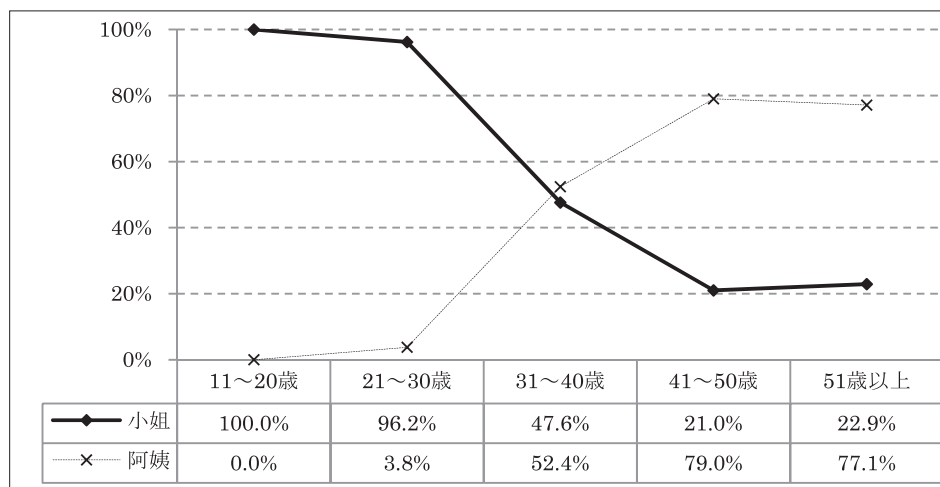


図5 “小姐”から“阿姨”へのシフト状況

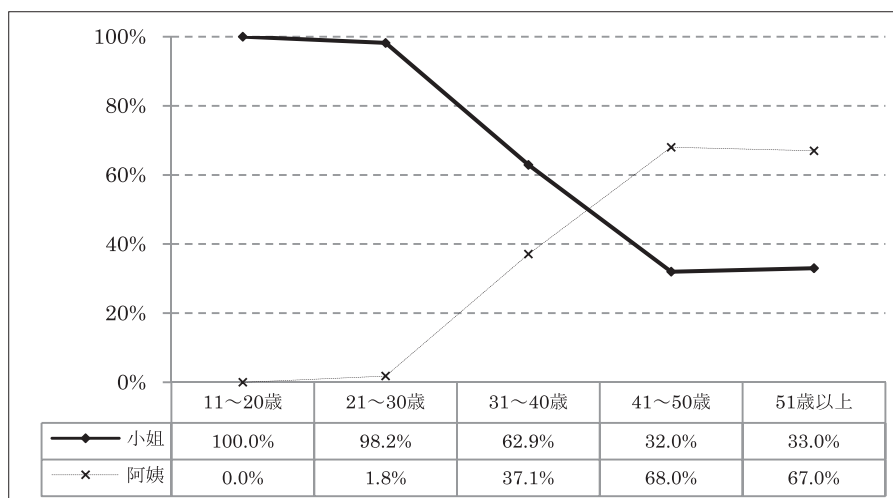


図6 飲食・宿泊・販売業における“小姐”と“阿姨”の使用状況

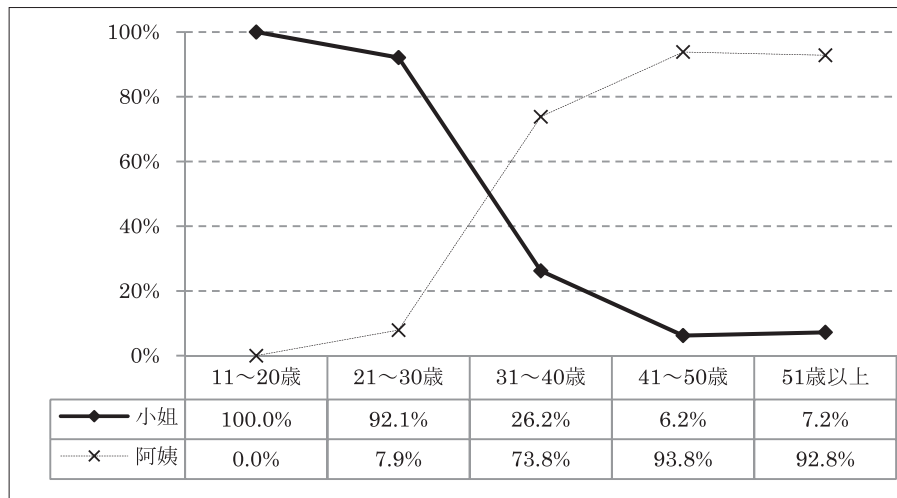


図7 他の場面における“小姐”と“阿姨”の使用状況

これに対して、図6における“小姐”の出現率は11～20歳、21～30歳という年齢層において100% 或いは100%に極めて近い数値を示し、その後、31～40歳において急激に低下し、41～50歳及び51歳以上において、“阿姨”の出現率を下回る。ただし、51歳以上においてわずかではあるが、“小姐”の出現率の上昇が見られる。職業及び年齢を加味した数値を詳細に見ると、飲食・宿泊・販売業の高級店において、特に51歳以上の女性に対する“小姐”の出現率（レストラン（高級）：47.1%，ホテル（高級）：40%，デパート（高級）：39.2%）の上昇が確認された。つまり、飲食・宿泊・販売業——特に高級な店舗においては、51歳以上の女性に対しても比較的高い確率で“小姐”という呼称語を使用するということになる。

まとめ

本稿は北京の大学生155名を対象とした意識調査に基づいて分析を行ったものであるため、本調査の結果から中国人全体の「女性に対する呼称語」の使用実態を示すことは難しい。ここに示す結果は、あくまでも本調査のインフォーマントに見られる「女性に対する呼称語」の使用傾向を示したものである。

(1) “小姐”の使用意識は、場面(i) ディスコにおいて最も高く、場面(e) 大学事務において最も低くなる。また、場面(f-1～3) レストラン・食堂及び(g-1～3) デパート・商店では、店のランクが低くな

るにつれて、“小姐”の使用が減少する傾向にある。

(2) “阿姨”の使用意識は、場面(b) 道ばたにおいて最も高く、場面(e) 大学事務において最も低くなる。また、場面(f-1～3) レストラン・食堂及び(j-1～3) ホテル・旅館では、店のランクが低くなるにつれて、“阿姨”の使用が増加する傾向にある。

(3) “小姐”に替わるものであると考えられる「服务员」の使用意識は、場面(f-3) レストラン・食堂（低級）において最も高く、場面(b) 道端及び場面(c) 医療機関、場面(e) 大学事務において最も低くなる。また、場面(f-1～3) レストラン・食堂では、店のランクが低くなるにつれて、「服务员」の使用が増加する傾向にある。

(4) 呼びかけ相手の年齢層別に分析すると、11～30歳までの女性に対しては、“小姐”が多く用いられ、年齢が上がるにつれて減少する傾向にある。また、31～40歳の女性に対しては、“阿姨”が多く用いられ始め、その後、41～50歳の年齢層で最高値に達し、51歳以上の年齢層では、また減少している。

(5) 飲食・宿泊・販売系の業種では、他の業種と比べて、高い年齢層の女性に対しても“小姐”という呼称語を用いる傾向にある。

今回の調査では、調査地点が師範大学であったためか、女性の割合が多くなってしまった。そのため、調査結果にも女性の意識が多く反映されていると考えられる。今後の調査で、男性の意識を調査してみなければ、断定はできないが、男性の方が女性に対して“小

姐”と呼びかけることについて抵抗を持っており、この呼称語を回避する傾向にある可能性を指摘することができる。

注

- (1) 小池 2003: 217.
- (2) 莫 2002: 172.
- (2) 愛知大学中日大辞典編纂処編 1996: 2041.
- (3) 相原 2002: 1712.
- (4) 大東文化大学中国語大辞典編纂室 1999: 3405.
- (5) 相原 2007: 451.
- (6) 中国社会科学院语言研究所词典编辑室 2005: 1498.
- (7) 商务印书馆辞书研究中心 2000: 1383.
- (8) 杨 2004: 86.
- (9) 李 2003.

参考文献

愛知大学中日大辞典編纂処編

1996『中日大辞典（増訂第2版）』東京：大修館書店

相原茂

2002『中日辞典（第二版）』東京：講談社

相原茂

2007『現代中国語新語辞典』東京：講談社

大東文化大学中国語大辞典編纂室

1999『現代漢日辞海』北京：北京大学出版社

东景

2000「不叫“小姐”叫什么」，《中国文化报》2000年10月30日

樊小玲・胡范铸・林界军

2004「“小姐”称呼语的语用特征，地理分布及其走向」，《语言文字应用》第4期：41-47頁

郭紫纯

2005「北京四成女性拒绝小姐称呼 认为其等同三陪小姐」，《法制晚报》2005年10月12日

小池生夫

2003『応用言語学事典』東京：研究社

李成军

2003「“小姐”称呼语的泛化及其他」，《桂林市教育学院学报》<http://www.xslx.com>

宮本大輔

2007「場面別に見る「小姐」の使用実態——北京大学生の意識調査に基づいて——」，《『日本中国語学会第57回全国大会予稿集』（琉球大学）pp. 110-114

莫邦富

2002『中国「新語」最前線』東京：新潮社

商务印书馆辞书研究中心

2000『应用汉语词典』北京：商务印书馆

陶菲

2005「“美女”成最受欢迎女性称呼“小姐”受抵触」，《金

陵晚报》2005年10月19日

呉世平

1999「呼称語の変容」，愛知学泉大学『経営研究』13(2)：205-218

杨永林

2004『社会语言学研究：功能・称谓・性別篇』，上海：上海外语教育出版社

中国社会科学院语言研究所词典编辑室

2005『现代汉语词典（第5版）』，北京：商务印书馆